

## こんなに素晴らしい世界なのに

### 創造のトピックス

#### ドン・バッテン博士の沖縄セミナーから、創世記1章に書かれた創造の‘日’について・・・(1)

天地創造の六日間が普通の日(地球1回転)であるという理解は今日のキリスト教界で極めて少数派です。このことには、進化論に合わせようとして、何十億年という年代を聖書に当てはめようとした神学解釈が背景にあります。例えば・・・

1) 聖書の創世記(特にアブラハム以前)は詩歌であって史実ではない(梓組み説)

2) 創造の「日(yom)」を進化論がいう何億年の地質時代と解釈する(神が進化を起こした:有神進化論)など。

ここで2)については、英語(日本語)の‘日’にも、例えば‘父の若い日に’という不特定な期間を表す場合があるように、ヘブル語の‘yom’も‘時代’の意味で使われた、という解釈が教えられてきました。しかし、yomは、文中に数詞、あるいは夕や朝という単語を伴う場合は全て通常の1日の意味で使われています。なぜ創世記1章だけが例外だということでしょうか。ですから、ヘブル語学者のほとんどは、‘聖書自体’は、‘創造の日’は通常の1日であり、創世記は歴史を伝えようとしているということと一致しています。

すなわち、創造の‘日’を‘何十億年である’と解釈するには、聖書外の考えを意図的に持ち込まなければ不可能であり(私的解釈)、一方‘創造の日は通常の日である’という理解は他の多くの聖書箇所と矛盾しない唯一の選択です。

安息日を覚えて、これを聖なる日とせよ。六日間、働いて、あなたのすべての仕事をしなければならぬ。・・・それは主が六日のうちに、天と地と海、またそれらの中にいるすべてのものを造り、七日目に休

まれたからである。(出エジプト記20:8~11)

(詳細はドン・バッテン著「創造の疑問に答える」第2章を参照)

### セミナー活動

10月~今までに行ったセミナー:

10/13:桜ヶ丘キリスト教会(岡山)、14:西日本青年宣教大会(紹介のみ;西大寺キリスト教会、岡山)、16、18:SICSセミナー、20:豊田バプテスト教会、27、11/17:泉佐野キリスト集会、12/7、8:那覇バプテスト教会ドン・バッテン博士セミナー、12/9:沖縄教職者座談会

今から~1月に予定のセミナー:

12/15、1/19:泉佐野キリスト集会、12/22:泉南聖書教会

### 祈りの課題

祈りに覚えてくださり、心より感謝します。

- 1) 日本は進化論一辺倒ですが、この世界のデザイナーを覚え、信じる人たちが多く起こされますように。
- 2) (創世記を史実と信じる)ヤング・アース創造論が多くの教会に理解され、用いられますように。
- 3) ブックレット&DVD「すばらしい世界」が被災地、そして全国に行き渡り、福音が広がりますよう。
- 4) セミナー、出版物を通して創造主が覚えられ、主に栄光が帰されますよう。——10月に西日本青年宣教大会で紹介の機会が与えられ、また、SICSの修学旅行にアテンドした際、宿舎となっていたKBIで思いがけず有志の神学生を交えての創造のセミナーの機会が与えられました。12月7、8日にドン・バッテン博士を迎えて沖縄、那覇バプテスト教会で連続セミナーがありました。翌日9日には超教派で沖縄の教職者座談会が行われ、創造論の現状

について紹介、活発な意見交換がありました。感謝。

\*\*\*主にあって幸いなクリスマスを\*\*\*

記) 安井 亨 メール: [tycreation@nifty.com](mailto:tycreation@nifty.com)